



小型ICタグで時間短縮と検品精度向上

持出・持帰り、棚卸処理において大幅な時間短縮

「ICタグの一括読込の機能」が大幅な省力化につながることから、宝飾業界ではいち早くICタグの導入が進み、棚卸や商品持出し時に、有効利用されています。今回は宝飾品の一大加工産地である山梨県甲府市で宝石・貴金属製造卸をされている㈱近藤宝飾様における小型ICタグ導入によるメリットについてレポートしてみたいと思います。

㈱近藤宝飾様は、「全国のお客様にできるだけ多くの商品をご提案できる機会を持ちたい」との考えから毎週のように出張販売を行って来ました。

当然のことながら出張の際には商品持出作業が不可欠ですが、同社では視覚的にも商品管理が行えるように、「コピー機で商品を複写して持出リストを作成する」という手順をとって来ました。単なる品番だけの管理で



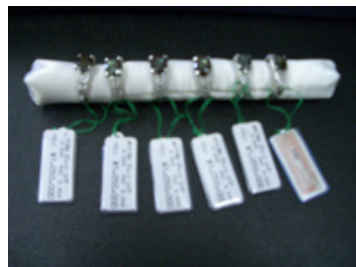
山梨県甲府市にある
㈱近藤宝飾様

はなく、画像付で確認できるため管理ミス等の減少には役立ちましたが、一回の出張時に数百点の商品を持出する現状では、持出し作業に7～8時間かかってしまい、作業の効率アップが急務となっていました。

このような経緯から、大幅な時間短縮と業務効率化がはかれるICタグの導入を決定するにいたりました。

ワンアクションで伝票発行

商品登録時にデジタルカメラで撮った画像を保存しておけば、出張・催事用の持出し時にはICタグのついた商品をアンテナに載せるだけで自動認識され、画像付の伝票が発行されます。いままでコピー機で複写を取っていた作業は一切なくなり、「持出商品をアンテナに載せる」というワンアクションだけで伝票発行まで済んでしまい大幅な時間短縮を実現。さらに持帰りや棚卸においても読み間違い等の人為的ミスが起らないことから検品精度も大幅に向上したのです。

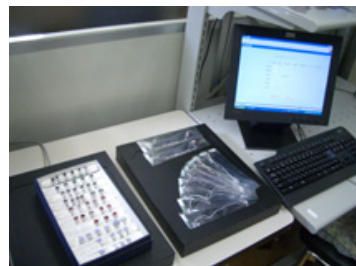


ICタグが内蔵されたタグの取り付けられた指輪がリング棒で保管されている

ICタグの導入により、スピーディー且つ間違いのない情報が取得できるようになったことから、持出・委託・催事の残商品を場所別、担当者別にリアルタイム表示できるようになり、売上データとの照合もスムーズに行えるようになりました。

このようにしてICタグ導入により大きな成果をあげた同社ですが、棚卸や持出し時のスピードアップにとどまらず、情報を有効活用し、分析・顧客ニーズの絞込みを行い、顧客の嗜好に合った新商品提案を行うなど進化を模索中のようです。

いずれにしても、ICタグ導入によって生まれた時間を有効活用して、同社が攻めの販売活動に転じたことは紛れもない事実のようです。



▲ 小型ICインレットを内蔵したタグ

▲ 実際の読込風景、ケースに入れたままで効率よく読取されていく

お問い合わせは

PEC フェニックス電子株式会社

本社営業部 TEL075(221)5855 FAX075(221)5377

東京営業部 TEL03(3668)0201 FAX03(3668)0203

中部営業所 TEL0568(29)2145 FAX0568(29)2146

URL <http://www.phoenix-denshi.co.jp/>